資料５-３

館山市　市民意識調査アンケート

－　まちづくりに対する“皆さまの声”をお聞かせください　－

市民の皆さまには、日ごろから市政に対して深いご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、館山市では、令和８年度から令和１７年度までの１０年間の『第５次館山市総合計画』の策定を進めています。総合計画は、私たちが暮らす館山市を、将来どのような「まち」にしていくのか、そのためにどのようなことをしていくのかを、総合的かつ体系的にまとめた市政の最上位となる計画です。

これまでも課題であった少子高齢化や人口減少、公共施設の老朽化に加えて、近年は地方創生の進展、令和元年房総半島台風や新型コロナウイルス感染症のまん延による安全・安心に対する意識の高まりなど、市政を取り巻く環境は大きく変化しています。

このような状況の中、次代の館山市を築き上げるためには、市民の皆さまと行政とが一体となったまちづくりが求められます。

このアンケートは、今後のまちづくりに対する市民の皆さまのご意見やお考えをお聞きし、『総合計画』の策定につなげていくために実施するものです。

調査にあたり、市内にお住まいの１６歳以上の方の中から、２，０００人を無作為に選び、アンケートをお願いしています。調査は無記名であり、お答えいただいた方にご迷惑をおかけすることはございません。

上記の趣旨をご理解いただき、回答にお手間をおかけしますが、ぜひともご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和６年８月

館山市長　森　正一

- あて名のご本人様がお答えください。
- 重複回答を避けるため、あて名ラベルに記載された数字列を下の枠内にご記入ください。
  なお、この数字列はランダムに付されたもので、個人を特定するものではありません。

- お答えは、あてはまる回答（選択肢）の番号に、○印を直接ご記入ください。
  また、「その他」を選択した場合は、その内容を（カッコ）内に具体的にご記入ください。
- このアンケートは、同封の返信用封筒に入れ、●月●日（●）までにポストに投函してください。なお、切手の貼付、お名前・ご住所の記入は不要です。

《問合せ先》　館山市総合政策部企画課企画係　渋谷・内藤・橋本
電　話：０４７０－２２－３１６３
e-mail：kikakuka@city.tateyama.chiba.jp

（ロゴフォームを活用したオンラインでの回答方法を紹介）

二次元
ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ

■ 館山市への愛着、郷土の誇りや宝

【問１】　あなたは、館山市に「自分たちのまち」としての愛着、魅力を感じていますか（〇印は１つ）。

１．愛着がある	２．どちらかというと愛着がある
３．さほど愛着はない	４．愛着はない
５．わからない	

【問２】　あなたは、館山市の「郷土の誇り」や「宝」などについて、どのようにお考えですか（〇印は１つずつ、７のみ自由記述）。

１．来訪者に自慢したい素敵な場所や風景	１．海（海岸・鏡ケ浦）　２．城山 ３．夕日　４．富士山　５．沖ノ島 ６．崖観音　７．平砂浦　８．花
２．館山市のお土産・食べ物でおすすめしたいもの	１．海産物（魚・刺身）　２．寿司 ３．びわ　４．いちご　５．野菜 ６．落花生　７．さんが焼・なめろう
３．対外的にアピールしたいイベント・行事	１．花火大会　２．やわたんまち ３．里見まつり　４．若潮マラソン
４．館山市ならではの歴史・文化・芸術	１．里見氏・八犬伝　２．地域の祭り ３．城山　４．房州うちわ　５．寺社 ６．戦争遺跡　７．フラメンコ
５．館山市が誇れる著名人	１．X JAPAN の YOSHIKI と ToshI ２．さかなクン　３．島田 順子 ４．中沢 けい　５．福原 有信
６．館山市で楽しめるスポーツ	１．マリンスポーツ　２．ランニング ３．サイクリング　４．トライアスロン
７．大切にしたい・していきたい宝	（ご自由にお書きください）

【問３】　あなたが考える、10 年後の館山市のイメージに近いものを３つまで選んで○印をつけてください。

１．すべての人が元気ですこやかに暮らすまち
２．豊かな自然と人々が調和した、持続可能なまち
３．地域ぐるみで安心して子育てができるまち
４．助け合い・支え合いで、みんなで共生できるまち
５．医療・福祉・介護が充実し、自分らしく暮らせるまち
６．教育・文化活動やスポーツ活動が盛んなまち
７．地域に根差した歴史や文化が生きるまち
８．自然と気候に恵まれた、居住環境に優れたまち
９．活力ある産業と豊かな暮らしを感じられるまち
10. 海辺に人がにぎわう、人や情報の交流が活発なまち
11. みんなで支え合う、災害に強いまち
12. 生活基盤や防災体制が整い、安心して暮らせるまち
13. 住環境や生活基盤の整う、利便性の高いまち

■ 館山市全体について

【問４】 あなたにとって、館山市が「住みやすい」と思う点、「住みにくい」と思う点について、それぞれ３つまで選んで〇印をつけてください。

「住みやすい」と思う点	「住みにくい」と思う点
1．自然に恵まれている	1．自然環境が悪い
2．長年住み慣れている	2．住み始めたばかりでなじみがない
3．人々が親切で人情に厚い	3．人間関係が閉鎖的・わずらわしい
4．買い物などの日常生活が便利	4．買い物などの日常生活が不便
5．食材が豊富、食べ物がおいしい	5．食材が少ない、食べ物がおいしくない
6．治安が良い	6．治安が悪い
7．気候が良い	7．気候が悪い
8．今の仕事に満足している	8．良い仕事先が無い
9．子どものための教育環境が良い	9．子どものための教育環境が悪い
10．医療や福祉制度が充実している	10．医療・福祉制度が整っていない
11．物価・家賃が安い	11．物価・家賃が高い
12．勤務先・学校までの交通の便が良い	12．勤務先・学校までの交通の便が悪い
13．車で自由に移動できる	13．車が無いと不便
14．道路・排水路などのインフラが整っている	14．道路・排水路などのインフラが整っていない
15．文化施設（博物館など）・スポーツ施設などが充実している	15．文化施設（博物館など）・スポーツ施設などが不足している
16．娯楽施設（映画館など）が充実している	16．娯楽施設（映画館など）が不足している
17．お祭り・イベントが魅力的である	17．お祭り・イベントが魅力的でない
18．その他（　　　　）	18．その他（　　　　）

【問５】　あなたは、館山市の住みやすさについて、どう感じていますか。
次の中から１つ選んで〇印をつけてください。

１．住みよい	２．まあ住みよい	３．やや住みにくい	４．住みにくい

【問６】　あなたは、これからも館山市に住み続けたいと思いますか。
次の中から１つ選んで〇印をつけてください。

１．住み続けたい	２．できれば住み続けたい	３．できれば他市区町村に転出したい	４．他市区町村へ転出する予定

※【問６】で「３・４」とお答えの方にお聞きします。
現在考えている範囲で、次の問いにお答えください。

◆ 転出先（市区町村名）はどちらですか・・

◆ その理由は何ですか・・・・・・・・・・・
（ 例：仕事を探すため
進学のため　　　など ）

【問７】　これまで進めてきた、まちづくりの「満足度」と、これからまちづくりを進めていく上での「重要度」について、項目ごとに１つずつ選んで〇印をつけてください。

※以下のすべての項目について、満足度・重要度とも、それぞれ１～５の中から１つずつ選んで〇印をつけてください。	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要（優先すべきである）	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない（縮小すべき）
《回答例》　〇〇の充実	1	②	3	4	5	1	2	3	④	5
子育て・福祉・医療に関すること										
①　子育て環境の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
②　高齢者福祉の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③　障がい者福祉の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④　低所得者福祉の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤　地域福祉の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑥　保健・医療体制の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑦　健康づくりの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
教育・文化に関すること										
⑧　学校教育の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑨　青少年の健全育成強化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑩　生涯学習の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑪　歴史の継承と文化の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑫　スポーツの振興によるまちづくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑬　国際交流・地域間交流の促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
産業・経済に関すること										
⑭　観光の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑮　農水産業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑯　商工業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑰　新たな雇用の創出と就業支援の強化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑱　移住・定住の促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑲　交流拠点施設を核とした地域活性化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

これまで進めてきた、まちづくりの「満足度」と、これからまちづくりを進めていく上での「重要度」について、項目ごとに１つずつ選んで〇印をつけてください。

※以下のすべての項目について、満足度・重要度とも、それぞれ１～５の中から１つずつ選んで〇印をつけてください。	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要である（優先すべき）	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない（縮小すべき）
《回答例》　〇〇の充実	1	②	3	4	5	1	2	3	④	5
基盤整備に関すること										
⑳ 住環境の充実と市街地の利便性向上	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
㉑ 公園の機能充実と緑化の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
㉒ 道路環境の充実と河川整備の促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
㉓ 交通体系の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
環境共生に関すること										
㉔ 自然環境の保全と景観形成の促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
㉕ 環境・衛生対策の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
㉖ 資源循環型社会の構築	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
防災・安全に関すること										
㉗ 防災体制の強化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
㉘ 消防・救急の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
㉙ 交通安全・防犯体制の強化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
㉚ 消費者保護対策の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
市民参画・行政運営に関すること										
㉛ 市民参画の促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
㉜ 地域コミュニティ活動の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
㉝ 男女共同参画の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
㉞ 情報発信力の強化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
㉟ 戦略的な行財政運営	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
㊱ 広域行政の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

【問８】　あなたの日常生活のうち、次に示した「日常行動・施設利用」について、①現在の

（どこに立地し、どんな交通手段で利用することが理想だと思いますか）について、

日常行動・施設利用	①現在の利用状況																
※以下のすべての項目について、それぞれの選択肢から１つずつ選んで〇印をつけてください。	実際に利用している地域															頻度	
	那古地区	船形地区	館山地区	北条地区	西岬地区	神戸地区	富崎地区	豊房神余地区	館野地区	九重地区	南房総市	鴨川市	鋸南町	千葉県内（安房４市町以外）	千葉県外	ほぼ毎日	週に３～４回
《回答例》買い物	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	1	2
① 食料品・日用品を買うための日常的な買い物	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	1	2
② 買回り品などを買うための買い物（専門店、デパートなど）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	1	2
③ 飲食店（レストランや喫茶店など）の利用	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	1	2
④ 通院（総合病院）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	1	2
⑤ 通院（医院、診療所など）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	1	2
⑥ 通勤・通学（仕事先・学校など）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	1	2
⑦ 文化施設(図書館・博物館）の利用	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	1	2
⑧ コミュニティ施設（コミュニティセンター・文化ホールなど）の利用	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	1	2
⑨ スポーツ・運動施設（市民運動場・運動公園）の利用	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	1	2
⑩ 保健施設・福祉施設（リハビリ・ケア施設など）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	1	2
⑪ 子育て関連施設（幼稚園・保育園など）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	1	2
⑫ 市役所での手続き	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	1	2

利用状況（どの地域で、どの程度の頻度で、どの交通手段で利用していますか）、②理想の条件
項目ごとに１つずつ選んで○印をつけてください。

①現在の利用状況（前頁から続き）													②理想の条件									
頻度（前頁から続き）				交通手段									立地場所			交通手段						
週に１回程度	月に１回程度	年に１回程度	利用しない	徒歩	自転車・バイク	自家用車	鉄道	路線バス	市街地循環バス	高速バス	タクシー	デマンド乗合タクシー	お住まいの地区	館山市内でお住まいの地区外	館山市外	徒歩	自転車・バイク	自家用車	鉄道	路線・循環バス	高速バス	（デマンド乗合）タクシー
3	4	5	6	1	2	○3	4	5	6	7	8	9	1	○2	3	1	2	3	4	○5	6	7
3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7

例）館山市内で、住んでいる地区とは別の地区にあるスーパーへ、バスで行って買い物したい

【問９】　これから 10 年後の将来、あなたの日常生活において、次に示した交通手段がどの程度必要になると思いますか。それぞれの移動手段について、項目ごとに１つずつ選んで〇印をつけてください。

※以下のすべての交通手段について、必要度を１～５の中から１つ選んで〇印をつけてください。		必要度				
		とても必要	どちらかといえば必要	どちらかといえば必要ない	必要ない	わからない
《回答例》	徒歩	1	2	3	4	5
	自転車	1	2	3	4	5
① 徒歩		1	2	3	4	5
② 自転車		1	2	3	4	5
③ 自家用車		1	2	3	4	5
④ 鉄道		1	2	3	4	5
⑤ 路線バス		1	2	3	4	5
⑥ 市街地循環バス「かいまーる」＊		1	2	3	4	5
⑦ タクシー		1	2	3	4	5
⑧ デマンド型乗合タクシー＊（チョイソコ館山など）		1	2	3	4	5

＊ 市街地循環バス「かいまーる」とは、ＪＲ館山駅を発着場所として、商業施設や医療機関、館山市役所などを循環運行する路線バスのこと。

＊ デマンド型乗合タクシーとは、利用したい日時・乗降場所を事前予約すると、その予約状況に合わせてＡＩが最適な運行ルートを選択して運行する「事前予約制の乗合送迎サービス」のこと。

■ 館山市の少子高齢化対策について

【問 10】　あなたは、若い世代が館山市に移住・定住するためには、何が必要だと思いますか（３つまで選んで○印をつけてください）。

1．農林水産業における後継者の育成支援
2．企業誘致等による就業機会・職業分野の拡大
3．意欲のある若者に対する起業・創業支援
4．子育て支援や学校教育環境の充実
5．学力やコミュニケーション能力を向上させる学習機会の充実
6．大学のサテライトキャンパスや附属高校等の誘致
7．医療機関の充実
8．幹線道路や公共交通の整備による都市部へのアクセス向上
9．商工業やレクリエーション施設の充実
10．恵まれた自然環境等の都市部へのプロモーション
11．シビックプライド（まちに対する誇りや愛着）の醸成
12．購入・賃貸しやすい住宅や住宅地の整備
13．婚活支援の実施
14．安全・安心なまちづくりの充実
15．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

【問 11】　あなたは、出産・子育て支援に関して、今後どのような施策が重要だと思いますか（３つまで選んで○印をつけてください）。

1．母子保健サービスの充実（乳幼児健康診査や予防接種、産後ケア等）
2．急な病気にも対応できるような救急医療体制の確保・充実
3．子どもがのびのびと遊べる施設の整備（公園・広場等）
4．地域全体で子育てを行う環境・体制づくり（親同士の交流・高齢者による見守り等）
5．出産や育児に関する不安や悩みを軽減する環境づくり（産婦人科・小児科の充実、専門職による相談体制の充実、情報提供の充実）
6．乳幼児保育サービスの充実（延長保育・休日保育・一時保育等）
7．学童保育サービスの充実
8．子育てしながら働きやすい職場環境の整備
9．経済的負担の軽減（保育料の軽減・医療費の助成・児童手当の充実・第３子以降の出産に対する助成等）
10．地域の交通安全や防犯対策の強化
11．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

【問 12】　あなたは、65 歳以上の高齢期になったときの生活について、どのように感じていますか（1つ選んで○印をつけてください）。

1．非常に不安を感じる
2．少し不安を感じる
3．あまり不安を感じない
4．まったく不安を感じない
5．わからない

※【問 12】で「1．非常に不安を感じる」「2．少し不安を感じる」とお答えの方にお聞きします。
主に、どのようなことに不安を感じていますか（3つまで選んで○印をつけてください）。

1．自分自身の健康・介護	2．家族の健康・介護
3．生活費が足りなくなる	4．働く場所が無くなること
5．住まいの確保・管理	6．買い物など、日々の生活
7．地域の中で孤立すること	8．家族間（跡継ぎ）の問題
9．生きがいを無くすこと	10．移動手段の確保（車の運転など）
11．わからない	

【問 13】　あなたは、高齢者に対する施策として、どのような内容が重要だと思いますか（3つまで選んで○印をつけてください）。

1．健康診査や健康教育、健康相談などの保健施策
2．運動や身体活動など、体を動かすことによる健康づくり（介護予防）
3．高齢でも働くことができる場所づくり
4．学び続けることができる生涯学習の推進
5．安全に出かけることができるバリアフリー環境の整備
6．いつまでも在宅で暮らせるような在宅福祉サービスの充実
7．高齢者同士が共同して暮らすことのできる住宅の整備
8．高齢者・障がい者のための住宅改造の助言・助成
9．地域での多世代による交流の充実
10．介護施設や老人ホームなどの入所サービスの充実
11．コミュニティバスなど市内外への移動のための移送サービス
12．路線バスやタクシーを利用する際の助成
13．高齢者福祉を担うボランティアの育成
14．学校教育における福祉教育の充実
15．わからない

■ 協働のまちづくり

【問 14】 あなたは、今後、市民等との協働のまちづくりを推進する上で、どのようなことが重要だと思いますか（3つまで選んで〇印をつけてください）。

1．まちづくりに関する情報（行政からの情報、市民が持つ情報）を共有する
2．日頃から市民と市職員が接する機会を増やし、お互いの理解を深める
3．市民が打合せや作業できる活動拠点の整備・充実を図る
4．まちづくりに関する計画をつくる際に、市民が参加できる機会を増やす
5．市民協働によるまちづくりの考え方をアピールするため、イベント・事業を実施する
6．市民等によるまちづくりへの提案や提言の機会を増やす
7．市民や各種団体などが主体的に行うまちづくり活動の支援を拡大する

【問 15】 あなたは、現在、どのようなまちづくり活動に参加されていますか。
また、今後、どのようなまちづくり活動に参加したいですか（それぞれ3つまで選んで〇印をつけてください）。

現在、参加している活動	今後、活動したい活動	まちづくり活動
1	1	自治会の活動
2	2	イベント・親睦活動
3	3	消防・防災・防犯活動
4	4	自然保護や環境の保全活動
5	5	まちの美化・緑化活動
6	6	高齢者の支援活動
7	7	障がい児や障がい者の支援活動
8	8	健康づくり活動
9	9	子育て支援活動
10	10	青少年の健全育成活動
11	11	男女共同参画社会づくり活動
12	12	スポーツ・レクリエーション活動
13	13	地域の伝統・文化の継承

【問 16】　下の表に示した活動について、地域で取り組むことをどのように思いますか。
項目ごとに１つずつ選んで〇印をつけてください。

※以下のすべての活動について、それぞれ１～４の中から１つずつ選んで〇印をつけてください。	地域が主体となって取り組むべきこと	地域で取り組める可能性があること	地域で取り組むことが困難なこと	わからない
① 高齢者のお世話や子育て支援など	1	2	3	4
② 健康づくり活動	1	2	3	4
③ 地域でのお祭りや親睦行事など	1	2	3	4
④ 文化・芸術・スポーツなど催しの運営	1	2	3	4
⑤ 地域での美化活動、清掃活動など	1	2	3	4
⑥ 災害時の声掛けなどの支援活動など	1	2	3	4
⑦ 地域での見回り活動など	1	2	3	4
⑧ 放課後の体験学習・学童保育など	1	2	3	4
⑨ 広報紙など地域広報誌の発行など	1	2	3	4
⑩ 地域の伝統や文化の継承	1	2	3	4
⑪ バザーの開催や特産品開発など	1	2	3	4

■ 防災について

【問 17】　あなたは、災害に強いまちづくりのため、どのような施策が重要だと思いますか（3つまで選んで○印をつけてください）。

1．情報収集・情報伝達体制の確保
2．備蓄品（食料・飲料水・生活必需品等）の種類及び保有量の拡充
3．災害用トイレの確保
4．し尿処理、ごみ処理、がれき処理体制の確保
5．緊急輸送体制の確保
6．避難施設の確保及び避難設備の充実
7．市民の防災力強化（防災リーダー・防災士の養成・防災教育等）
8．防災ボランティアの育成及び活動支援
9．消防団による活動体制の充実
10．民間建築物の耐震化の推進
11．公共施設の耐震化の推進
12．自治体の対応力強化（避難所・BCP 策定*・職員体制）
13．国・県・他の自治体・企業等との連携強化（災害協定等）
14．災害時におけるボランティアの受入体制の充実

＊BCP（Business Continuity Plan：事業継続計画）とは、テロや災害、システム障害などの危機的状況下に置かれた場合でも、応急対策業務や優先度の高い通常業務を適切に実施できるようにするための計画のこと。

【問 18】　あなたは、災害時において行政による活動のほかに、どのような組織が地域の活動の一部を担うべきだと思いますか（3つまで選んで○印をつけてください）。

1．町内会や自治会、青年団	2．消防団
3．防犯・防災組織	4．ボランティア組織等
5．学校のＰＴＡ組織	6．企業等の自主組織
7．市民一人ひとり	8．わからない

【問 19】 あなたやご家族は、災害時に備えてどのような対策をとっていますか（3つまで選んで〇印をつけてください）。

1．携帯ラジオ、懐中電灯、ランタン、乾電池、医薬品などを準備している
2．近くの学校や公園など避難する場所を決めている
3．自宅及び避難経路周辺の危険な箇所を把握している
4．食料や飲料水を準備している
5．簡易トイレ、携帯トイレを準備している
6．家具や冷蔵庫などを固定し、転倒を防止している
7．家族との連絡方法などを決めている
8．貴重品などをすぐ持ち出せるように準備している
9．防災訓練に積極的に参加している
10．隣近所の人たちなどと協力し合える体制（関係）をつくっている
11．家屋の耐震化や耐震診断を行うなど、自分の家の耐震性に気を遣っている
12．特に対策はとっていない

【問 20】 あなたは、災害が発生した際の対応について、「自助」、「近助」、「共助」、「公助」の重要性や関わりについて、どのようにお考えですか（それぞれ1つ選んで〇印をつけてください。）

※以下のすべての項目について、重要度・関わり方とも、それぞれ１～５の中から1つずつ選んで〇印をつけてください。	重要度					関わり方				
	とても重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要でない	積極的に担いたい	できれば担いたい	どちらともいえない	できれば担いたくない	担いたくない
① 自助 *について	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 近助 *について	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 共助 *について	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④ 公助 *について	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

＊自助とは、防災面において、自分（家族）で自分や家族の身を守ること。
例えば、災害に備えて、家族を含む一人一人が準備しておくことなど。
＊近助とは、防災面において、隣近所同士で助け合うこと。
例えば、災害時の声かけ、安否確認、避難時の協力など。
＊共助とは、防災面において、自主防災組織や町内会等、地域の結束力を生かし助け合うこと。
＊公助とは、防災面において、市や消防、警察等の公的機関による救援・復旧活動等の支援

■ あなた自身について教えてください。

それぞれの設問の該当する番号に〇印をつけてください。また、（カッコ）内には必要に応じて具体的な内容を記入してください。

① 性別	1．男　2．女　3．その他
② 年齢	1．10 歳代　2．20 歳代　3．30 歳代 4．40 歳代　5．50 歳代　6．60 歳代 7．70 歳代　8．80 歳代以上
③ 家族構成	1．ひとり暮らし　2．夫婦のみ（パートナー含む） 3．親と子（二世代）　4．祖父母と親と子（三世代） 5．その他（　　　）
	A．同居するご家族に小学生以下のお子さんがいる場合 （該当する番号に〇印をつけ、人数もお答えください。） 1．小学校就学前（　　人）　2．小学生（　　人）
	B．同居するご家族（ご本人様を含む）に、75 歳以上の方がいる場合 75 歳以上の方の人数（　　人）
④ 職業	1．自営の商工サービス業　2．農林水産業 3．会社員（正社員）　4．公務員・団体職員 5．パート・アルバイト・派遣社員　6．学生 7．専業主婦（主夫）　8．年金生活 9．無職　10．その他（　　　）
（通勤・通学先）	※通勤・通学されている方は、通勤・通学先と交通手段をお聞きします。 A．通勤・通学先 （どちらかに〇印をつけ､市外の場合は､市区町村名をお答えください。） 1．市内　2．市外（　　　市・区・町・村） B．交通手段（該当するすべてに〇印をつけてください。） 1．自家用車　2．路線バス　3．高速バス 4．電車　5．徒歩　6．自転車・バイク 7．徒歩　8．その他（　　　）

⑤ 居住地区	１．館山地区　　２．北条地区　　３．那古地区 ４．船形地区　　５．西岬地区　　６．神戸地区 ７．富崎地区　　８．豊房神余地区　９．館野地区 10．九重地区
⑥ 居住状況	１．生まれてから、館山市にずっと住んでいる ２．館山市生まれであるが、市外での居住経験がある ３．市外から転入してきた
⑦ 居住年数	館山市での通算居住年数をお答えください。 １．１年未満　　２．１～５年 ３．６～１０年　　４．１１～２０年 ５．２１年以上
⑧ 転入理由	※⑥居住状況で「２」･「３」とお答えの方にお聞きします。 転入された理由をお答えください（該当するすべてに○印）。 １．転勤（勤務の関係）　　２．結婚　　３．就職・就学 ４．退職・卒業（Uターン）　　５．移住　　６．家族の都合 ７．その他（　　　　　　　　）
⑨ 以前に住んでいた地域	※⑥居住状況で「２」･「３」とお答えの方にお聞きします。 館山市に転入されたとき（※複数回ある場合は、最後に転入されたとき）、直前まで住んでいた地域に○印をつけ、（カッコ）内に具体的に記入してください。 １．安房郡市内　（　鴨川市　・　南房総市　・　鋸南町　） ２．県内　（　　　　市　・　町　・　村　） ３．県外　（　　　　都　・　道　・　府　・　県　） ４．国外　（　　　　　　　　）

■　あなたのアイデア

　館山市が、持続可能なまちとして市民の皆様に愛されるために、あなたが日頃から考えているご要望やご意見、地域活性化のアイデアなどがありましたら、ご記入をお願いいたします。
　なお、ご記入いただいた内容は、計画策定や今後の市政の参考とさせていただきます。
　よろしくお願いいたします。

◇　あなたの市に対するご要望・ご意見

◇　あなたの地域活性化のアイデア

◇　あなたは、20 年後の館山市が、どのようなまちになっていてほしいと思いますか。

　質問は以上です。このたびはご多用のところご協力くださり、誠にありがとうございます。
　なお、ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒を用いて、●月●●日（●）までに、切手を貼らずにポストに投函くださいますようお願い申し上げます。
　今後も、皆様のご意見をいただく機会を設けてまいりますので、よろしくお願いいたします。